



発行 KOA 森林塾 (事務局) 0265-70-7065
 編集 坂野慎治
 題字 島崎洋路

『丸太になってから』
 通年コース第十・十一回開催報告「見学、枝打ち」

山から伐り出された木は、その後、一日目は長野県森林組合連合会の伊那木材センターと有賀建具店さんを見学させてもらいました。午前中は伊那木材セン

ター。ここは県森連の木材センターのひとつで年間十九回の市売りが開かれています。所長の高見さんに丸太の見方を教えてもらい、森林塾用に準備していただいた極の丸太



木口と木肌の情報

を検分してみる。芯は中心にあるか、傷や腐植がないか、幹の曲がりの有無などを見て、模擬入札をしてみました。センターでは誰でも保証金があれば入札に参加できる。そうなので、皆さんも十万円を持って丸太を買いに来てみませんか。昼食の前に、かんてんば

を食べた後、有賀建具店さんへ。親方の恵一さんは、先ほどの森世紀工房に参加されている知事認定のマイスターでもあります。彩り豊かなドアやテーブル、多様なデザイン椅子やカラマツの食器棚など様々な製品を並べてくれた作業場で、各種の木の見本を手にとりながら、その特徴や

ホールで開催中の森世紀工房の展示会を見学。テーブルや椅子、木琴などのおもちゃやアイランドキッチン、薬箱など県産材を使った作品が並んでいました。大芝高原へ移動して昼食を



どんな木も使ってみよう

食べた後、有賀建具店さんへ。親方の恵一さんは、先ほどの森世紀工房に参加されている知事認定のマイスターでもあります。彩り豊かなドアやテーブル、多様なデザイン椅子やカラマツの食器棚など様々な製品を並べてくれた作業場で、各種の木の見本を手にとりながら、その特徴や

用途などいろいろな話をお聞きしました。また、乾燥中の棧積みされた板材をみせてもらって、その量にびっくり。ほぼ一年くらいで使ってしまうと聞いて二度びっくり。ご注文はお早めをお願い致します。

今回は、ロープと棒でぶりを作り、主にそれで木に登って枝打ちしていただきました。ぶりを繩は、ロープの末端に輪を作り、そこに手木を通して出来上がり。小屋横での練習では、ぶりを繩の掛け方を習ったら一段目へ上がり、降りる練習を。安全帯の使い方の講習で自分にあわせて調整をして、一段目・三段目へ。そして午後は、高鳥谷山麓のヒノキ林で、保残木の目印の付いた木の枝打ち。ワンタッチラダーや先生にお借りしてあぶみも使ってみました。持ち帰ったぶりを繩をまた山で使う機会があればいいのですが、街の公園で練習するのは控えたほうがいいのかも。



通年コース
 第十・十一回
 10月10日(金)
 見学

8時30分 島崎先生の山小屋に集合。講師挨拶の後、森世紀工房や伊那木材センターの概要講義。
 9時20分 分乗して伊那木材センターへ向かう。
 10時 センター着後、所長の高見さんから県森連のしくみや直接取引きのネットワーク化支援、最近の買い方の変化の説明を受ける。また、極積みの仕方や材の見方を教えていただき、

10時25分 森林塾用に準備してもらった極を検分。木口からは、芯の位置、年輪が均等か、腐りがないかなどを、木肌からは、曲がりや傷の有無、節の状態などを調べてみる。



口差しのゆくえ



降り方の練習をしてから

10時50分

そして模擬入札。誰でも保証金の十万円があれば市売りに参加できますので、一度如何ですか。

11時20分

かんでんばばホールで森世紀工場の展示会見学。建具や家具はもちろん、アイランドキッチンや各種のおもちゃが並び。

12時10分

大芝高原へ移動して昼食。

13時

有賀建具店さんへ。

13時20分

親方挨拶。材の調達から製品のできるまでの説明を受ける。製材が一番好きだとのこと。ある埋もれ木の製材の時は、製材所を一日借り切つて、刃を何枚か交換しながら行ったそうです。

14時10分

製品の紹介。長野県知事室の椅子やカラマツの食器棚、高島屋との提携による三人掛けの椅子、七色の天板のテーブルなどなど思わず注文をしてしまいました。

14時20分

様々な木の見本を手にとりながら、その特徴と用途のお話。文庫本様にデザインされた各種の木の見本は早い者勝ち。

15時50分

積みみされた大量の板材在庫を見せていただく。ほぼ一年分だそうです。

16時15分

見学を終え小屋へ。

16時40分

講師講評。明日の連絡をしつて終了、解散。

10月11日(土)

枝打ち

8時30分

島崎先生の山小屋に集合。

8時40分

早川講師と保科先生の挨拶。

8時40分

保科先生の枝打ち講義。大径材を作るのか、通し柱を生産するのか、といった施業の目的に応じて枝打ちの目的も変わる。作業は、厳冬期を除いた秋の彼岸から春の彼岸まで。最近は枝座(枝隆)を残したやり方が主流とのこと。太い枝などは二段に落とし、枯れ

枝は抜けることがあるので注意が必要など量より質を重視した作業を。

9時40分

先生愛用のあぶみや両刃のナタなど各種の道具類を見せていただく。枝打ち時のナタの持ち方は、人差し指を伸ばした状態で柄の付け根を持つて。

10時

各班に分かれてロープの末端加工。本線を左手に末端を右手に持つて輪を作り、本線の一本一本に末端の一本一本を右から左に口差し。編み込みは、一越しで。アイ加工が終わったら手木を通して、ぶり縄の出上がり。

11時

イントラ藤原さんに模範演技を披露していただく。

11時10分

小屋横のヒノキ林で、各班に分かれて木登り練習。一段目が上がったら、降りる練習を。安全帯の使い方が分かったら二段・三段に挑戦。

12時10分

小屋にて昼食。

13時10分

分乗して高島谷山麓のヒノキ林へ。

13時50分

保科先生の枝打ち実演。のこぎりで行う場合は、初めゆっくりと。そして刃全体

を使って引くときに力を入れる。

14時20分

各班に分かれて枝打ち開始。ぶり縄はもちろん、ワントッチラダーやあぶみを先生に借りて使ってみました。一人二本程できたでしょうか。

15時30分

作業終了。保科先生講評。最終回の復習の希望をお聞きして、先生とイントラの方々はここで別れる。

『伐木の集大成に』 専門コース第三回開催報告

早いもので今回で最終回となった専門コース。この三日間では、一抱え程のサワラやスギの伐木造材を実践しました。

林冠が閉鎖したサワラ主体の林分では、ぶり縄で木に登りロープをつけ、根張りを伐り落としてから牽引伐倒。枝払いでは、自在にチェンソーを持ち替えて、造材は二メートルで幹の状態に応じて回し伐る。

また、スギ主体の傾斜地での谷側への伐倒では、足場や退避路を作り込み、倒れるときに加速度がつくことを考慮して、つるを厚めに残して矢で徐々に重心を傾けていきます。

春・夏・秋の三回、三日間

16時20分
小屋へ戻り、解散。お疲れ様でした。

参加者/北沢さん、北原さん、小林さん、白鳥さん、千田さん、高玉さん、鷹野さん、土屋さん、舟山さん、北條さん、山崎(真)さん、山崎(欽)さん、田村さん、熊木さん、園田さん
講師/保科先生、早川講師
スタッフ/小泉、川島、藤原、坂野

つつの計九日間では、ロープやチルホールを使った牽引伐倒や矢を使うでの重心を移動させる伐木、かかり木の処理方法、橋渡しや接地した幹の造材、キヤトラ集材などを行ってきました。

今後は、どこかで実践の場所をみつけてということになりますが、万全の装備と現場の把握、退避路の重要性と受け口・追い口・つるの関係性、姿勢とチェンソーの使い方、集材をする場合としない場合などを考慮しつつ、安全で確実な作業をお願いします。お疲れ様でした。



専門コース第三回開催

10月2日(木)

～4日(土)

一日目

8時30分

島崎先生の山小屋に集合。講師挨拶の後、横山の現場へ。

9時

伐倒木の確認をしてから伐倒開始。ぶり縄を牽引ロープ代わりに取り付けての伐倒を行う。造材は薪材用として2m。

11時50分

現場にて昼食。

13時

目立て。ソーチェーンの刃の左右の大きさの違いを修正。

13時30分

伐倒再開。ぶり縄ロープ牽



姿勢で決める



奥から

引。橋渡し材の造材は、なるべく奥を伐り、上へ回し、残りを下から。

14時30分

枝払いの時にソーチェーンが外れ、ランナーが傷ついたようなので、修正する。

15時15分

伐倒再開。根張りを伐ってから伐倒に取り掛かる。

16時

作業を終了し小屋へ。

16時20分

明日の現場の連絡の後、講師講評、終了、解散。

二日目

8時30分

島崎先生の山小屋に集合。早川講師から目立ての注意点を聞いてから現場へ。

8時45分

昨日の現場から少し離れたスギ主体の林。平らな部分は林道へ、沢筋に向かう傾斜部分は沢方向へ集材するというところで、伐倒方向を検分する。

9時15分

今日は、平らな部分での伐倒。ぶり縄ロープ牽引や矢を使った伐倒。造材はせず、枝を払って全幹に。

11時50分

現場にて昼食。

13時10分

目立てをして伐倒再開。枝払いには枯れ枝のみ伐って葉枯らし状態になるべく材が重ならないように、伐倒順や方向を見定め、主に矢を使った伐倒を繰り返し返す。

16時

作業終了し、小屋へ。

16時20分

講師講評、終了、解散。

三日目

8時30分

島崎先生の山小屋に集合。講師挨拶の後、早速現場へ。

8時45分

作業始めに平らな部分で一本伐倒。二本目からは傾斜地で、退避路を丁寧に、足場をしっかりと確保。谷側への伐倒は加速度がつきやすいので、つるを多めに残しつつ、矢を使って重心を移動させ、傾き始めたら早めの退避。

11時50分

現場にて昼食。

13時10分

伐倒再開。谷側の隣接木は同じ樹高でも、傾斜の分だけ梢の位置が低い。一本毎に傾斜を上下しての枝払いは大変なので、二・三本伐倒をしてから、まとめて枝を払う。

16時20分

作業終了し、小屋へ。

16時45分

講師総括、終了、解散。お疲れ様でした。

参加者/東村さん

講師/早川講師

スタッフ/坂野

次回以降の予定

集中コース秋の部

11月6日(木)

～11月8日(土)

お待たせしましたKOA森林塾のエキスを集めた三日間の集中コースです。

樹を測る測樹やチェーンソーでの伐木造材から携帯型のウインチを使った簡単な集材まで一通りのことをやってみます。あれこれ盛り沢山になりますが、何か一つでもお持ち帰りいただければ幸いです。また、初日の夕方は交流会です。

初日は9時に、二日目・三日目は8時30分に、島崎先生の山小屋に集合です。

第十二・十三回

12月7・8日(金・土)

炭焼き・きのこ菌打ち 復習

一日目は、移動式炭化炉というものを使って炭焼きを試みます。材の仕込み・火入れの後には、きのこの菌打ち。ナラの原木にシイタケを植菌してみます。また、夕方からは少し早い忘年会。可能な方は、小屋宿泊で火の番のお付き合いを。なお、ほだ木を持ち帰ることが出来ます。



で、ご希望の方は大きめの袋や紐をご持参下さい。

二日目は、まず炭出し。マスキ、タオルなどが必要です。炭もお持ち帰り頂けますので、米袋などをご持参ください。そして復習です。保料先生の山林見学と伐倒&キャタトラ集材を行います。この時期、積雪や凍結の可能性がありしますので、道路状況等、事務局までお問い合わせ下さい。

おわりに

足早に秋。彩りを変えていく山。そろそろ冬支度も。

投稿大歓迎。ご意見、ご質問、ご要望、事務局まで。

TEL 0265-70-7065
FAX 0265-70-7994



E-mail:
sh-sakano@koanet.co.jp
ki-hayakawa@koanet.co.jp
携帯:090-4463-0062(開催日)
URL http://www.koanet.co.jp